

宮崎県議会議員  
田口ゆうじ  
議会だより

# きおな

第2号

平成20年1月 編集/発行 田口ゆうじ 延岡市旭町3-1-1

## 謹賀新年



元旦の延岡市(富美山町より)

### ごあいさつ 田口雄二

新年明けましておめでとうございます。さわやかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様よりご支援をいただき県議会議員になって8ヶ月、本当にあっという間に過ぎ去った1年でした。県議会がこれほど激動の、また注目の年もなかったと思いますが、そのような時に活躍の場を与えていただき、心から感謝を申し上げます。

さて昨年は、知事選挙、統一地方選挙、そして参議院選挙と選挙だらけの1年間でした。衝撃のデビューをした東国原知事の人気は一向に衰えることなく、宮崎県の情報が全国に発信されつづけ、イメージアップに大きく貢献してくれました。また、相次ぐ台風の襲来で、県北が、またしても災害に泣かされる年となりました。そして、県庁の巨額の裏金が発覚し、一昨年の官製談合事件に続く不祥事で、県民の信頼を大きく損ないました。皆様にご心からお詫び申し上げます。高速道路に関しては、6月に東九州自動車道の「大分県境～北川間」の着工式が設計協議からわずか1年で執り行われ、本年3月には九州横断自動車道の「延岡～北方間」が開通予定で、高速交通網の整備も日に日に進んでおり、県北地区の飛躍の期待がたかまってまいりました。私どもも県北の議員が、一丸となって地域間競争に負けないう街づくりを進めて参ります。また、知事効果で宮崎ブームとなっておりますが、宮崎県の改革はこれからが本番です。県民総力戦で新しい宮崎をつくって参りましょう。

最後になりますが、今年こそ災害のない安心安全の一年でありますことと、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。



11月議会での質問

### 11月定例県議会のご報告(18年度決算不認定に)

県議会は平成18年度の普通会計と公営企業会計の決算について、歳出の中に「預け」などの裏金が含まれており、県政史上重大な汚点であり、到底信頼できるものではなく、「不認定」と致しました。官製談合事件で不認定となった17年度決算に続く2年連続で、すべての会計の不認定は初めてのことです。

また、一般会計補正予算案などの25議案は可決。補正額は11億6,732万円で、総額5,682億3,608万円となりました。



11月議会では、当選以来、2度目の質問をさせていただきました。12月10日より、5日間にわたって一般質問がなされました。今回は21名の質問でしたが、延岡選出の5人全員を含む県北の8人が質問し、改めて県北の抱える問題や課題が多いことが浮き彫りになりました。

## 質問項目

- 1. 知事の政治姿勢について
- 2. 福祉行政について
- 3. 観光対策について
- 4. 交通網の整備について
- 5. 防災対策について
- 6. 教育行政について

## 質問要旨

### 知事の政治姿勢について

夕刊デイリー新聞(2007年12月15日)

**県議会**  
**一般質問**  
県議 幸一 月定例会一般質問は十四日、最終日を迎え、田口雄二議員(民主)

**日豊本線 早期更新を強く要望**

田口雄二議員

地形的な低気圧を頻りに受けるトンプラレーダーを全県配備中と聞く。  
▽普通科高の通学区域撤廃は来年度からの実施は、教育レベルの県央一極集中を助長するものだ。  
【丸山地域生活部長】日豊本線車両更新の多額の費用や特に高層上分間は利用者数が減少傾向にあることから進まない状況、とはいえ、同本線の利用促進には

### 福祉行政について

【質問】厚労省による平成18年度の認可保育園の保育料滞納調査で、本県の滞納者率が全国最悪であることがわかった。この不名誉な結果についての所見と改善対策について。

【福祉保健部長】保育料を納めている保護者との公平性を欠くとともに、市町村の財政を圧迫するなど、極めて重大な問題。県として市町村に対し、保護者への一層の働きかけや滞納処分を含めた積極的取り組みを、8月に文書で依頼した。今後とも行政指導監査等の機会を通して、助言等を行ってまいりたい。

【質問】政府の調査によれば、20人に1人の女性が生命に危険を感じるほどの暴力を夫や恋人から受けている。

また離婚調停の約3割が離婚理由としてDV(ドメスティック・バイオレンス)をあげている。本県の状況と救済策について。

【福祉保健部長】県の女性相談所に

宮崎日日新聞(2007年12月15日)

**傍聴席**  
知事発言に追及

○田口雄二議員(民主、延岡市区)は、東園原知事がマニフェストに掲げる多選自派を意外な切り口で突いた。ほかの議員の質問に「宮崎に骨を埋める覚悟で立候補した」と述べた答弁を引用し、「多選自派と矛盾するのでは」と追った。知事は「骨を埋めるとは、長きにわたる権力の座に踏みとどまろうという意味とは限らない」と説明。「宮崎のために何か地域貢献できないかと模索しながら生きていく」という意味で、多選とは別問題」ときっぱり。

今議会で衆院へのくらの替えの可能性を尋ねる質問も飛び出していた。知事は「骨の埋め方」に対する知事の見解は議場の耳目を集めた。

### マニフェスト修正も

#### 知事「状況の変化に対応」一般質問

宮崎日日新聞(2007年12月15日)

東園原知事は十四日の県議会一般質問で、知事選時に掲げたマニフェストについて「時代や社会性が刻々と変化の中で新たな目標が出てきた」と書き間違えた。5割減の中で上昇させるのは

り、修正してもいい」と増は無理」と発言。この認識を明らかにした。ことについて、田口雄二(5面)一般質問(詳報)議員(民主、延岡市区)は「マニフェストの否定は今年初め、高層市内で開かれた討論会につながらるのでは」と問中、マニフェストで掲げた「県外観光客年々5%増」について「4年を1年と書き間違えた。5割減の中で上昇させるのは大変。達成できないかも」と、そういう発言をした。最初に書いたマニフェストの達成には全力を尽くす」と答弁した。

本会議後、知事は報道陣に知り、マニフェストの内容について「状況の変化で上方、下方修正はある。自殺率や未婚率地など、加筆や数値目標に新たに書き込むのか検討が必要」と説明した。

### 県事業・夏田地区排水ポンプ施設

県が進める延岡市田地区の排水ポンプ設置工事が大幅に遅れており、運転開始が当初の来年六月から九月末にずれ込むことが十四日、分かった。県議会定例会一般質問で、田口雄二議員(民主、延岡)は、延岡市に設置された大雨でたまっていた内水を流す祝子川に、出た排水が溢れかえり、農地が浸水している。県は、今年三月に着工したが、受注した建設業者が倒産し、工程に大幅な遅れが生じているという。野口同部長は「遅れを取り戻すため、作業時間の延長と工事用道路の追加などで進捗に努めている」と述べた。

田口議員は「地区内は高齢化が進み、排水ポンプの期待は皆さんが厚い。大雨に遭うと、台風の時に遊水地が激減している。今までも同じ雨でもかなり違う被害が出ることを考えられる」と、台風時期の完成を強く要請した。

野口同部長は「夜間工事に伴う騒音や周辺住者の影響、作業の安全確保などの問題を解決しながら、一日も早い運転開始を目指したい」と理解を求めた。

## 来年6月予定が9月末稼働

# 業者倒産で大幅遅れ

延岡

一が好調で、1万9,400人、前年比約2,300人増。  
**【質問】** 国際定期便が新規就航予定の台湾と、今回期間限定ではあるが1増便されたアジア航空を利用する韓国の観光客誘致対策について。  
**【商工観光労働部長】** 台湾の新規就航は、南九州では本県だけが唯一定期路線を有することになるので、鹿児島県等と連携し南九州周遊ルートの開発や、就学旅行、個人客の誘致に力を入れていく。韓国については、定期便の増便により、多様な旅行日程を組むことが出来るようになるので、地域資源を生かした体験メニューや神話・伝説を取り入れた新たな観光ルートの提案を行う等、更なる誘客を図っていく。

## 交通網の整備について

**【質問】** 県内の鉄道は、都城市、宮崎市、そして昨年日向市が高架され、中心市街地の活性化にも大きく貢献した。今後、残された地域は延岡駅周辺しか考えられないが、その実現の可能性について。  
**【県土整備部長】** 延岡市が平成17年度に、五ヶ瀬川から祝子川の間で調査を実施。

結果、計画区間内のあらゆる1km区間内で、車両の踏切遮断量が1日当たり2万台時必要であるが、踏切部の交通遮断量が国庫補助採択基準に達していない。県としては、中心市街地の活性化や安全で円滑な交通確保の観点から、引き続き延岡市と一緒に研究して参りたい。

18年度に702件、前年比130件増。DV防止法が施行された14年度と比較すると約2倍。救済策として、女性相談所がカウンセリングや一時保護、自立支援のサポートを行っている。また、警察、市町村、民間団体等で構成する「DV被害者保護支援ネットワーク会議」を開催し、関係機関との連携強化に努めている。なお、現在各機関の職員向けに「被害者対応マニュアル」の作成を進めている。

## 観光対策について

**【質問】** 海外からの観光客の動向について伺いたい。特に観光客の大半を占められる韓国、台湾からの増減について。  
**【商工観光労働部長】** 平成18年度の海外観光客は、宿泊者数で見ると、6万9,570人で、前年比約7,000人増。韓国はゴルフ客を中心に3万3,851人、前年比約9,000人増。台湾はチャーター便ツア



早朝より延岡から議会傍聴に(民主党控え室)

# 韓国レポート

韓国の最大の旅行会社「ハナツアー」の、日本事業部の担当者に韓国人の日本旅行について調査してきました。韓国の旅行者が、日本への旅行で一番の人気は、やはり「ゴルフと温泉」です。温泉が好まれるのに、火山がなく温泉が非常に少ないそうです。また女子プロゴルファーは世界トップレベルにもかかわらず、ゴルフコースが少ない上にプレー費が大変高額（4～5万円）で、また冬場は寒すぎて出来ない。そこで早速、今日本で大ブームの宮崎県の宣伝を。タイガー・ウッズの出場する世界的なトーナメントが行われるせいか、暖かい宮崎のゴルフ場は、非常に関心が高く、人気スポット。ただ残念なことに、宮崎の温泉に関しては、全く認識されておらず、温泉とゴルフのセット等によるPRが必要と痛感。また、いま宮崎で売り出し中のサーフィンなどの体験型プランも勧めてみましたが、海外旅行の歴史がまだまだ浅く、成熟しておらず、体験型には感心がないとのこと。以上の件は、早速11月議会の一般質問で観光対策のテーマで提言いたしましたが、今後も引き続き調査を重ねながら、観光客誘致に取り組んでまいります。



ハナツアーの日本事業部(権藤・井上議員と)

## 高速道路情報

### 補償金目的の過密植栽が強制収用に

東九州自動車道の早期完成に、大きな障害となっていた「補償金目的の過密植栽」の強制収用が認められました。道路予定地にくい打ち後、アカシアやサクラ、ケヤキ等がすきまがないほど植えられて、高額な補償金が要求されていました。国土交通相の事業認定を受けた県収用委員会が、西日本高速道路(株)の補償はしないと主張を全面的に認め、道路予定地に確認されている40ヶ所のうち、この度、2ヶ所が強制収用されることになりました。今後も同様の手続きを進めていく予定です。今後、順調に用地取得と工事が進めば、延岡～宮崎間は平成27年の春に全線開通予定です。

活動  
フォト



参院選で鳩山幹事長が来宮し、記者会見(外山いつき事務所)



国土交通省の谷口技監に高速道の早期建設の陳情(議長・商工建設委員長と)

県政  
相談

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。  
田口雄二 ☎0982-26-1945 携帯 090-5021-7729  
e-mail: gucci-yu@ma.wainet.ne.jp